戦後最悪 死者6911人

発生1週間

阪神大震災上回る

宮城4030人、避難21万人

午後2時46分

震災から1週間。追悼のサイレンが鳴り響く中、大津波が襲った名取市閖上では一家5人が被災地を望む高台に登り、犠牲者を悼んで手を合わせた＝18日午後2時46分

東日本大震災から18日で1週間。きょう、東北沿岸の被災地で午後2時46分、住民らが黙とうを捧げた。警察庁の午後8時までの集計で、宮城の4030人を含む12県で6911人が死亡したことが分かった。行方不明者は1万7541人。発生から1週間が経過し、救出・捜索活動は本格化するとともに、被災者の生活再建へ向けた取り組みが始まった。避難所では地震があったとき、どこに逃げるか、どこに集まるかを話し合う姿も。ライフラインの復旧は遅れ、電気、水道、ガソリンなどの不足が続く。東北新幹線は一部区間で運転を再開し、JRは在来線の運転を順次再開する。一方、福島第一原子力発電所の事故は収束の見通しが立たず、放射性物質の放出が続いている。宮城県内の被災者は、厳しい寒さの中、不安な夜を過ごした。

河北新報

3月19日（土）

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28（郵便番号 980-8660）

「東」は、未来

電話（022）211
読者相談室 1447
報道 部1127 販売 部1304
スポーツ部1130 営業 部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1132 事業 部1332
総合案内（022）211-1111

ご購読申し込みは 0120-09-3748

2面 窮余の策 地上放水
3面 「根治」の鍵 電源復旧
4面 食品卸 東北12拠点停止
5面 復興支援へ円高抑止
6・7面 被災者の生活関連情報

東日本大震災関連記事

9面 被災者へのアドバイス
13面 余震M5以上28回
14面 卒業式 「懸命に生きる」
15面 支え合う笑顔に光
16面 募る思い 被災者の声

宮城県 被災者に県外避難要請へ

半年～1年以上 仮設住宅確保まで

原発事故 レベル5

保安院 引き上げ 電源復旧作業急ぐ

東日本大震災による福島第一原発（福島県大熊町）の事故で、経済産業省原子力安全・保安院は18日、事故の深刻さを示す国際評価尺度（INES）を、8段階の7番目に深刻なレベル5に発表した。1989年の東海村臨界事故を超える国内最悪。これまで1号機の事故を、東海村事故と同じレベル4と評価していた。第1発電所では18日、自衛隊のヘリコプターによる水投下は見送られた。東電は原発の冷却機能が失われた1～3号機で5基以上の燃料が損傷したとみる。電所外へ放射性物質の放出が続いているとみられ、レベル5と認定した。これまでの事故は、1979年の米スリーマイルアイランド事故（79年）と同じ、チェルノブイリ事故（86年）の2件。第1発電所では18日、自衛隊の消防車などが7日間、3号機の使用済み燃料プールに向けて42ノ放水。17日に続く2回目。放水を受け、陸軍ヘリ部隊が3号機の使用済み燃料プールに向けて放水。

原子力事故の国際評価と具体例

	レベル	具体例
事故	7（深刻な事故）	旧ソ連のチェルノブイリ事故（1986年）
	6（大事故）	
	5（所外へのリスクを伴う事故）	福島第1の1～3号機事故（暫定） 米スリーマイルアイランド事故（79年）
	4（所外への大きなリスクを伴わない事故）	東海村臨界事故（99年）
異常な事象	3（重大な異常事象）	福島第1の4号機事故（暫定） 福島第2の1、2、4号機事故（暫定）
	2（異常事象）	美浜2号機蒸気発生器細管破断事故（91年）
	1（逸脱）	もんじゅナトリウム漏えい事故（95年） 美浜3号機死傷事故（2004年）
	0（尺度以下）	

宮城県内の被災者は、受け入れを表明した県外の公営住宅などへ移転する。県は仮設住宅を建設するか、民間アパートなどを借り上げるかなどを調整する。県内で仮設住宅を建設する場合、建設を業界に要請した。県は、被災者が仮住宅で、完成までの期間を1年以内と、県内の建設業者などへ強く求めている方向へ進んでいる。

県内の被災者は、受け入れを表明した県外の公営住宅などへ移転する。県は、被災者が仮住宅で、完成までの期間を1年以内と、県内の建設業者などへ強く求めている。

県は仮設住宅を建設するか、民間アパートなどを借り上げるかなどを調整する。県内で仮設住宅を建設する場合、建設を業界に要請した。県は、被災者が仮住宅で、完成までの期間を1年以内と、県内の建設業者などへ強く求めている方向へ進んでいる